

練馬区立幼稚園適正配置実施計画にかかる説明をもとめる要望書（回答）

1 意見交換会のあり方について

- ① 意見交換会については、区立幼稚園の保護者の皆様、未就園児保育の利用者の方々を対象として、12月9日、14日に開催いたします。周知の方法については、各区立幼稚園での周知や子育ての広場等、乳幼児の保護者の方が利用される区立施設等でも周知を行い、区ホームページにも掲載しました。

また、地域住民の方に対しては、光が丘あかね幼稚園、光が丘わかば幼稚園の住棟の管理組合に対して、情報提供を行いました。

意見交換会で出された意見等につきましては、議会や教育委員会に報告いたします。

- ② 会議要録という形でまとめ、公表を考えています。

2 閉園予定となる園の選定について

- ① 資料1のとおりです。

- ② 資料2のとおりです。

- ③ 土地を借用することおよび無償で借りるにあたっての条件です。

- ④ 閉園予定園を決めるにあたっては、適正配置実施計画（案）にあるとおり、さまざまな視点で検討、決定したものです。区の所有権を最重視して決めたものではありません。

- ⑤ 現時点で、跡施設の活用は決まっていません。今後、区として検討していきます。今回の適正配置実施計画（案）で廃園予定としている園の土地につきましては、区所有となっています。

3 練馬区立幼稚園に関する過去の経緯と、その将来像について

- ① 現在、練馬区には区立幼稚園が5園、私立幼稚園が41園ありますが、区立幼稚園5園のうち、4園が光が丘地区に設置されている状況です。区としては、区内の幼児園教育については私立幼稚園を基本としてきた経緯があります。光が丘地区の区立幼稚園4園は、光が丘団地の開発に伴う同団地の就園需要を満たすため、整備してきました。

私立幼稚園についても昭和50年には56園あったものが、現在では41園（1園休園中）にまで減少しており、厳しい状況にあります。3年保育の実施は私立幼稚園、とりわけ、光が丘周辺にある私立幼稚園に対する影響が大きいことから実施は困難な状況です。

- ② 3年保育については、平成17年に「区立小・中学校および区立幼稚園の適正配置基本方針」を策定する際に、案に対する区民意見反映制度において、いただいたご意見に対して「今後の研究課題とする」としてはいますが、実際の方針には盛り込んでおりません。

また、練馬区新長期計画（平成 18 年度～22 年度）、練馬区長期計画（平成 22 年度～26 年度）においても、区立幼稚園の 3 年保育については計画しておりません。

一方、従来から練馬区の幼稚園教育は私立幼稚園を基本として対応してきた経緯があります。幼稚園全体の園児数の減少等、幼稚園を取り巻く状況は厳しさを増しています。区が 3 年保育を実施することは、私立幼稚園のさらなる園児数減少を招く可能性があり、区立幼稚園における 3 年保育については、実施は困難な状況であると考えています。

- ③ 平成 17 年度を境に区立幼稚園の園児数が大きく減少しましたが、社会経済状況の大きな変動により女性の就労が増加し、保育需要が高まったことによると考えられます。こうした保育需要の増加について、区では待機児童解消に向けて、保育所の整備に取り組んでいます。

さらに、多様化する保育需要に応えるため、私立幼稚園の一部で在園児預かり保育を実施していますが、区立幼稚園が、こうした長時間の保育需要に応えていくために保育内容を変更することについては、現時点では考えていません。

- ④ 幼保の連携と一体化については、大きな課題であると認識していますが、必ずしも、同一施設内での一体化だけを考えているわけではありません。適正配置実施計画（案）においても示していますが、近隣施設を利用した連携の形も含めて、検討していきます。

- ⑤ 今後の区立幼稚園のあり方については、残る 3 園全体として、区立幼稚園の役割を担っていきます。

- ⑥ 区立幼稚園の園児数が大きく減少に転じたのは、社会経済状況による要因が大きいと考えられます。平成 19 年度に月額 6,500 円から 8,000 円に保育料の増額を行いました。この時期、私立幼稚園の園児数も減少しており、区立幼稚園の保育料の増額が、園児数の減少の理由とは考えておりません。幼稚園の保育料につきましては、所得状況により、減額・免除制度があります。また、幼稚園にかかる経費の公私格差の解消は区としても課題であると考え、私立幼稚園児の保護者に対して、補助金を支給しています。

・入園児保護者補助金（区）

園児一人あたり 40,000 円。ただし、入園料が 40,000 円未満の場合は入園料と同額となります。

・保護者負担軽減費補助金（都・区）

園児一人あたり月 11,200 円。保育料が 19,200 円未満の場合は保育料月額から 8,000 円を減じた額となります。

・就園奨励費補助金（国・都・区）

住民税額が一定額以下の世帯に対し、入園料および保育料の一部を補助するもので、所得・兄弟の状況により、年額 0 円から 303,000 円までとなります。

⑦ 平成 20 年 2 月に策定した「区立学校適正配置第一次実施計画」では、幼稚園につきましては対象にしませんでした。今回の計画は幼稚園を対象とした計画のため、内容が明確になるような計画名称としました。

小学校の適正配置では小学校は通学区域を指定していること、6 年間の就学期間であることから、新たな通学区域を指定し、新たな学校とした経緯があります。

区立幼稚園では、通学区域の指定がないことと、4 歳児、5 歳児の 2 年間の保育期間となるため、小学校のように統合とはせず、園児募集を停止し、卒園を待って廃園することとしたものです。

⑧ 都市計画の見直しと今回の区立幼稚園の適正配置実施計画（案）の策定期間には関連はありません。

⑨ 今回の適正配置実施計画（案）は施設の効率的な事業執行を目指して行うものです。厳しい区の財政状況や、新たなニーズへの対応が必要となっており、現在の充員率から、区立幼稚園の適正配置が急務であると考えています。

なお、要望書に記載された施設白書は平成 16 年 7 月に策定されたものであり、維持管理費や人件費、運営経費などは、平成 14 年度の決算状況です。平成 22 年度の決算状況は次のとおりです。

区立幼稚園 5 園にかかる 1 年間の経費は、約 3 億 9,500 万円でした。（1 園あたり平均 7,900 万円）

光熱水費などの維持管理費	約 6,100 万円	（1 園あたり 1,200 万円）
先生などの人件費	約 2 億 8,400 万円	（1 園あたり 5,700 万円）
幼稚園の運営にかかる経費	約 5,000 万円	（1 園あたり 1,000 万円）

幼稚園保育料収入は約 4,400 万円、入園手数料収入は約 82 万円でした。

【園児数】

平成 14 年度	678 人
平成 22 年度	475 人

⑩ 区として、幼稚園における障害児保育を実施していくためには、障害児を受け入れる幼稚園が区内全域にあることが必要です。私立幼稚園において、障害児の受け入れを進めており、区としても障害児保育を私立幼稚園にお願いし、財政的にも支援しています。今後も一層の障害児の受け入れを進めてもらえるよう私立幼稚園協会に要請しています。

障害のある幼児が就学前に幼稚園等で適切な幼児教育を受けられるようにしていくことは、重要な課題です。区立幼稚園においては、必要な補助員を配置するなど、障害児の受け入れを進めており、適正配置実施後もその考えに変わりはありません。

資料1

平成23年5月1日在籍園児の通園状況

		光が丘	旭町	田柄	高松	春日町	谷原	土支田	北町	早宮	向山	富士見台	練馬	貫井	高野台	大泉学 園 南大泉	関町 下石神 井	合計
光が丘 あかね幼稚園	4歳	11	5	1	6		1	3								1		28
	5歳	10	8	3	8		0	3	1				2					35
光が丘 むらさき幼稚 園	4歳	14		9	9	12	1		1	2		1						49
	5歳	14	1	15	9	6	1			1			1	3				51
光が丘 わかば幼稚園	4歳	10			9		13	1				2		3	4		3	45
	5歳	7	1		15		15					1		1	3			43
光が丘 さくら幼稚園	4歳	6	3	15					2								1	27
	5歳	5	2	27					4									38
小計	4歳	41	8	25	24	12	15	4	3	2	0	3	0	3	4	1	4	149
	5歳	36	12	45	32	6	16	3	5	1	0	1	3	4	3	0	0	167
合計		77	20	70	56	18	31	7	8	3	0	4	3	7	7	1	4	316
%		24.4%	51.9%				23.7%											100%

区立幼稚園園児数の推移

資料2

(各年5月1日現在)

幼稚園	歳児	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
北大泉	4歳児数	77	79	74	78	75	68	68	64	64	56
	5歳児数	78	78	77	76	78	78	75	68	63	69
	合計	155	157	151	154	153	146	143	132	127	125
光が丘あかね	4歳児数	57	54	56	68	52	43	42	37	30	27
	5歳児数	62	59	70	67	77	52	48	49	41	36
	合計	119	113	126	135	129	95	90	86	71	63
光が丘むらさき	4歳児数	81	75	98	90	82	59	65	54	49	49
	5歳児数	78	88	74	93	90	80	63	68	55	51
	合計	159	163	172	183	172	139	128	122	104	100
光が丘わかば	4歳児数	58	56	43	73	66	61	60	35	41	45
	5歳児数	66	61	63	49	77	75	63	64	41	43
	合計	124	117	106	122	143	136	123	99	82	88
光が丘さくら	4歳児数	56	56	71	43	51	48	42	38	42	27
	5歳児数	65	62	58	73	60	56	51	48	49	38
	合計	121	118	129	116	111	104	93	86	91	65
合計	4歳児数	329	320	342	352	326	279	277	228	226	204
	5歳児数	349	348	342	358	382	341	300	297	249	237
	合計	678	668	684	710	708	620	577	525	475	441